

浴室簡易内窓 フクマド

施工説明書

このたびは、フクビ製品「浴室簡易内窓 フクマド」をお買い上げくださりまして有難うございました。
下記の施工説明をよく御覧の上、正しく施工を行ってください。

注意 ■ 下地の確認

- 対応下地：樹脂窓枠
- ※タイル下地の場合は、弊社製品「マルチユース窓枠カバー」を縦勝ちで納めたうえで施工してください。
- 湿気を帯びた下地、腐食している下地には施工しないでください。
- 表面強度が強く、窓枠が汚れていないかを確認してください。

注意 ■ 施工上の注意

- 施工前には必ず、浴室用中性洗剤で下地の汚れを丁寧に洗い落とし、カビが発生している部分はカビ除去用の専用洗剤で取り除き、十分に乾かしてから施工を開始してください。
- 必ず専用両面テープをご使用ください。
- 5℃以下の環境では施工しないでください。両面テープの密着不良の恐れがあります。

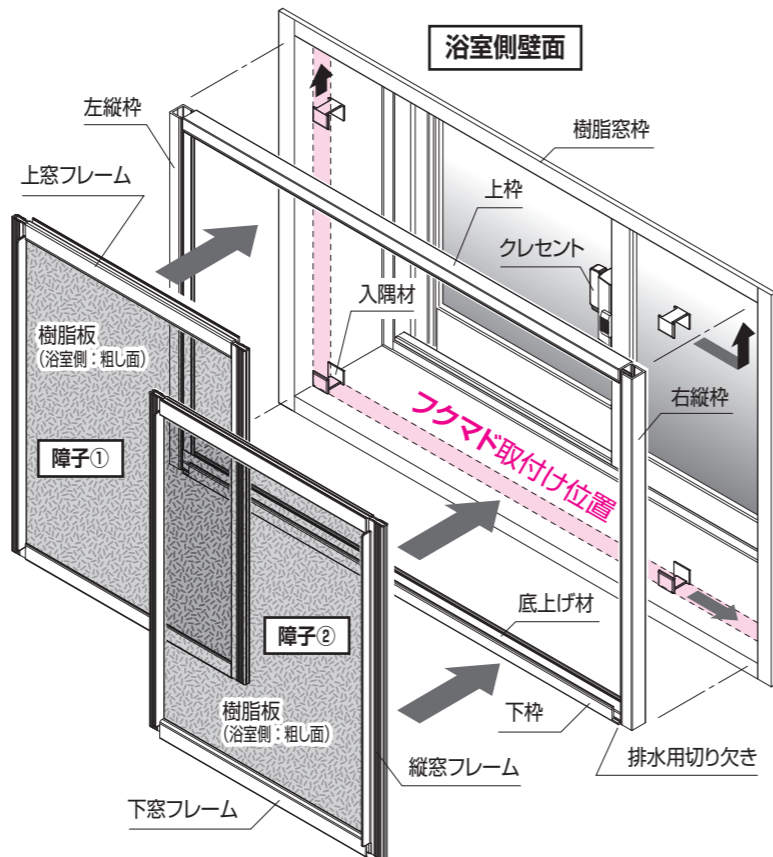
注意 ■ 既存の窓の確認

- 対応窓：引違い窓、Fix窓(最大H900mm×W1,200mmまで)
- ※上記に記載以外の窓、上記のサイズを超える窓には取り付けできないので、ご注意ください。

注意 ■ 使用時の注意

- 使用場所は窓枠とし、屋外では使用しないでください。
- 浴室が50℃以上となるようなサウナ風呂などへの使用は避けてください。
- 60℃を超える熱湯をかけないでください。
- 24時間風呂には使用しないでください。
- 取り付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。固定が不完全な場合、製品のガタツキや落下してケガをする恐れがあります。
- 製品の用途変更や改造はしないでください。

■ フクマド取り付けイメージ

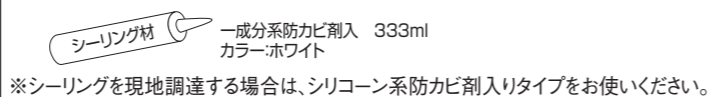


■ 部材一覧

呼称	形状	規格(mm)	梱包入数
縦枠		幅18.0×高16.0 (L) 900 (M) 900 (S) 600 材質：PVC	2本
上枠		幅18.0×高16.0 (L) 1,200 (M) 900 (S) 600 材質：PVC	1本
下枠		幅18.0×高16.0 (L) 1,200 (M) 900 (S) 600 材質：PVC	1本
底上げ材		幅13.6×高10.0 (L) 1,200 (M) 900 (S) 600 材質：PVC	1本
上下窓フレーム		幅10.3×高18.5 (L) 600 (M) 450 (S) 300 材質：PVC	4本
縦窓フレーム		幅16.5×高18.5 (L) 900 (M) 900 (S) 600 材質：PVC	4本
入隅材		20.5×23.0 ×高20.5 材質：ASA	4個
樹脂板		厚さ3.0 (L) 縦900×横600 (M) 縦900×横450 (S) 縦600×横300 材質：ポリカーボネート	2枚
その他	●施工説明書 ●取扱説明書 ●注意ラベル ●両面テープ		

■ 別売部材

● シーリング材 ※

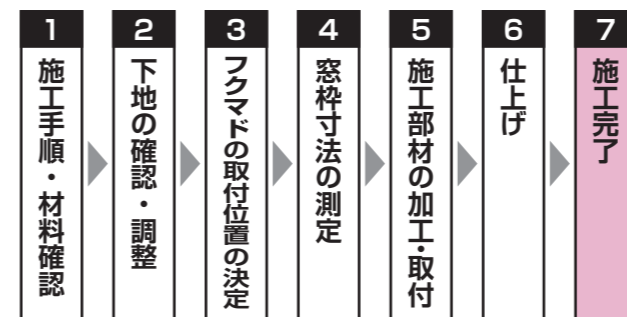


■ 準備するものチェックリスト

- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> メジャー | <input type="checkbox"/> カッター |
| <input type="checkbox"/> 鉛筆など | <input type="checkbox"/> ニッパー |
| <input type="checkbox"/> 作業用手袋 | <input type="checkbox"/> 手鋸、丸鋸 |
| <input type="checkbox"/> 保護めがね | <input type="checkbox"/> 紙やすり |
| <input type="checkbox"/> 定規 | <input type="checkbox"/> シーリングガン |

■ 施工手順

《 施工の流れ 》



1 施工手順・材料確認

施工の手順および施工材料の不足がないか確認してください。また注意事項をよく読み施工してください。
これからの作業については、作業用手袋、保護めがねを必要に応じて装着し、安全性に配慮し作業を行ってください。

2 下地の確認・調整

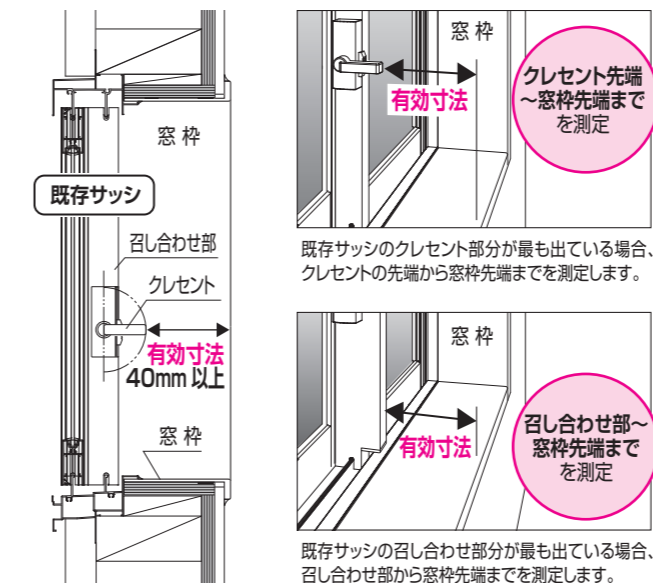
- 下地の確認
下地が樹脂窓枠かどうかを確認してください。
※タイル下地の場合は弊社製品「マルチユース窓枠カバー」を縦勝ちで納めてください。
※また、湿気を帯びていないか、腐食していないかも同時に確認してください。

- 窓枠の凹凸の確認
窓枠に水たまりができるような凹みなど、大きな凹凸がないか確認してください。

- 窓枠の清掃
浴室用中性洗剤で汚れを丁寧に洗い落とし、カビが発生している部分はカビ除去用の専用洗剤で取り除いてください。
※汚れたままでは、両面テープの密着力が十分発揮できません。
※清掃後は施工面を完全に乾燥させてください。施工時に万が一濡れている箇所があれば、タオルやドライヤーなどを用いて乾燥させてください。
※冬季や寒冷地では、乾燥時間を多くとる必要があります。

3 フクマドの取付位置の決定

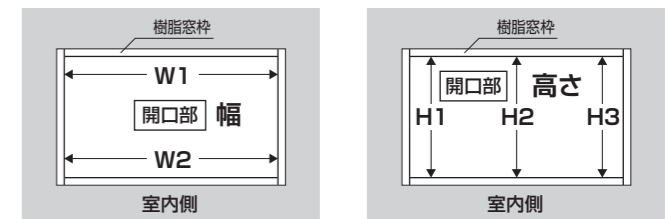
有効寸法が召し合わせ部から窓枠の先端、クレセントの先端から窓枠の先端が40mm以上あることを確認し、取付位置を決定してください。上下枠・縦枠の取付位置に印を付けてください。



※以降、寸法を記入できる箇所は記入するようにしてください。

4 窓枠寸法の測定

開口部が水平、垂直であることを確認してください。下図で示す窓枠内寸の幅と高さを実測してください。
※水平、垂直に1mm単位まで正確に測ってください。



幅	W1 mm	W2 mm	W1~W2の最長 mm
高	H1 mm	H2 mm	H3 mm
			H1~H3の最短 mm

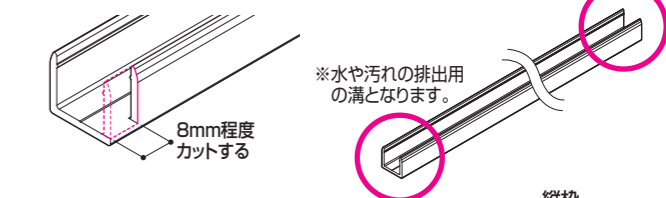
5 施工部材の加工・取付

- 注意 ●Lセットの場合、縦枠と上枠・下枠で長さが異なります。
●丸鋸でカットすると部材が破損する恐れがあります。

- 5-1 上枠・下枠のカット
上枠・下枠を実測した窓枠の幅から36mm引いた長さで手鋸でカットしてください。

上枠のカット	W1 mm	-36 mm	mm
下枠のカット	W2 mm	-36 mm	mm

- 5-2 下枠を水が抜けるようにカット(任意)
下枠端部から8mm程度、左右2箇所カットしてください。



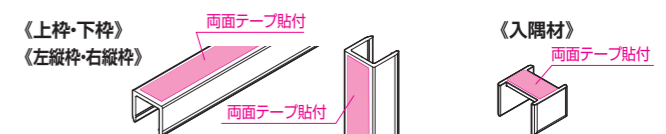
- 5-3 左縦枠・右縦枠のカット
右縦枠・左縦枠を実測した窓枠の高さから6mm引いた長さで手鋸でカットしてください。

左縦枠のカット	H1 mm	-6 mm	mm
右縦枠のカット	H3 mm	-6 mm	mm

- 5-4 底上げ材のカット
底上げ材を実測した窓枠の幅から8mm引いた長さで手鋸でカットしてください。

底上げ材のカット	W2 mm	-8 mm	mm
----------	-------	-------	----

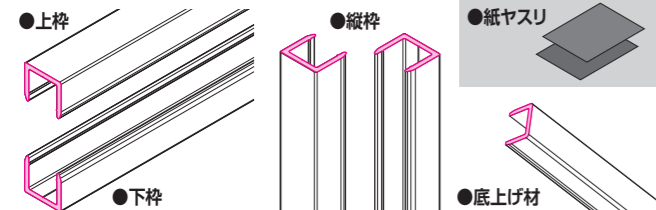
- 5-5 上枠・下枠・縦枠へ両面テープを貼り付け
上枠・下枠・左縦枠・右縦枠の裏面に両面テープを貼り付けてください。また、入隅材の裏面にも両面テープを貼り付けしてください。



■施工手順

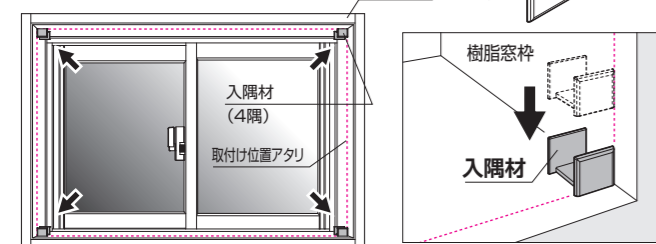
5-6 上枠・下枠・縦枠・底上げ材のヤスリかけ

上枠・下枠・縦枠・底上げ材のカット面にヤスリかけを行い、綺麗に仕上げてください。



5-7 入隅材の取付け

入隅材の裏の両面テープの剥離紙をはがし、樹脂窓枠の4隅に取付けてください。



5-8 左縦枠・右縦枠の取付け

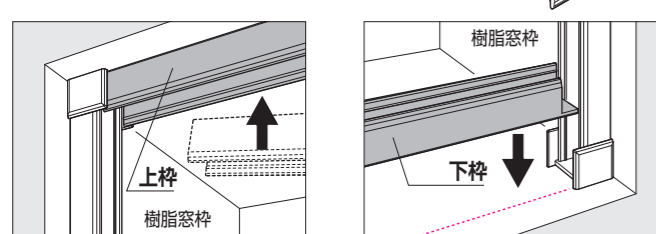
左縦枠・右縦枠の裏の両面テープの剥離紙をはがし、樹脂窓枠に取付けてください。



注意 ●取付ける枠材を間違えないようにご注意ください。
●上枠・下枠を取付けるより前に、必ず縦枠から取付けを始めてください。上枠・下枠から取付けを始めると、うまく取付けられない場合があります。
●しっかり圧着してください。圧着が不十分な場合、部材が落下する恐れがあります。

5-9 上枠・下枠の取付け

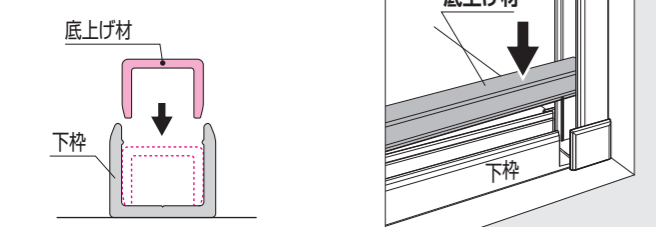
上枠・下枠の裏の両面テープの剥離紙をはがし、樹脂窓枠に取付けてください。



注意 ●取付ける枠材を間違えないようにご注意ください。
●しっかり圧着してください。圧着が不十分な場合、部材が落下する恐れがあります。

5-10 底上げ材の取付け

底上げ材を下枠に落とし込んでください。



5-11 樹脂板(透明板)のカット

4 窓枠寸法の測定で記入した「W1~W2の最長」、「H1~H3の最短」を下表に記入し、樹脂板サイズのXおよびYを算出してください。

樹脂板(幅)	W1~W2の最長 mm	÷2 =	X	mm
樹脂板(高)	H1~H3の最短 mm	-25 =	Y	mm

ポイント ●樹脂板には、保護フィルムは貼ったままの状態で行ってください。
●樹脂板は、手鋸やアクリルカッターなどでも切断することができますが、丸鋸で行うと非常に簡単に切断できます。

5-12 上下窓フレームのカット

上下窓フレームを上表で算出したXか532mmを引いた長さで手鋸でカットしてください。

上下窓フレームのカット	X	mm	-32 =		mm
-------------	---	----	-------	--	----

注意 ●丸鋸でカットすると部材が破損することがあります。

5-13 縦窓フレームのカット

縦窓フレームを上表で算出したYと同じ寸法で手鋸でカットしてください。

縦窓フレームのカット	Y	mm
------------	---	----

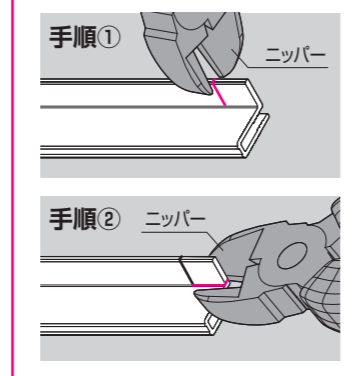
注意 ●丸鋸でカットすると部材が破損することがあります。

5-14 縦窓フレームの把手部分のカット

縦窓フレームの把手部分を右図のように両端12mmずつを手鋸またはニッパーでカットしてください。合計8箇所のカットが必要となります。

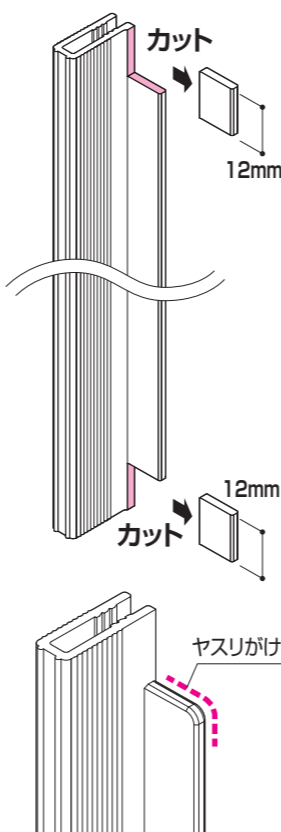
ポイント

●ニッパーでカットする場合は、下記の手順で把手部分をカットしてください。
※違う手順でカットを行うと、フレームが割れたり欠けたりする場合がありますので、ご注意ください。



5-15 縦窓フレーム・上下窓フレームのヤスリかけ

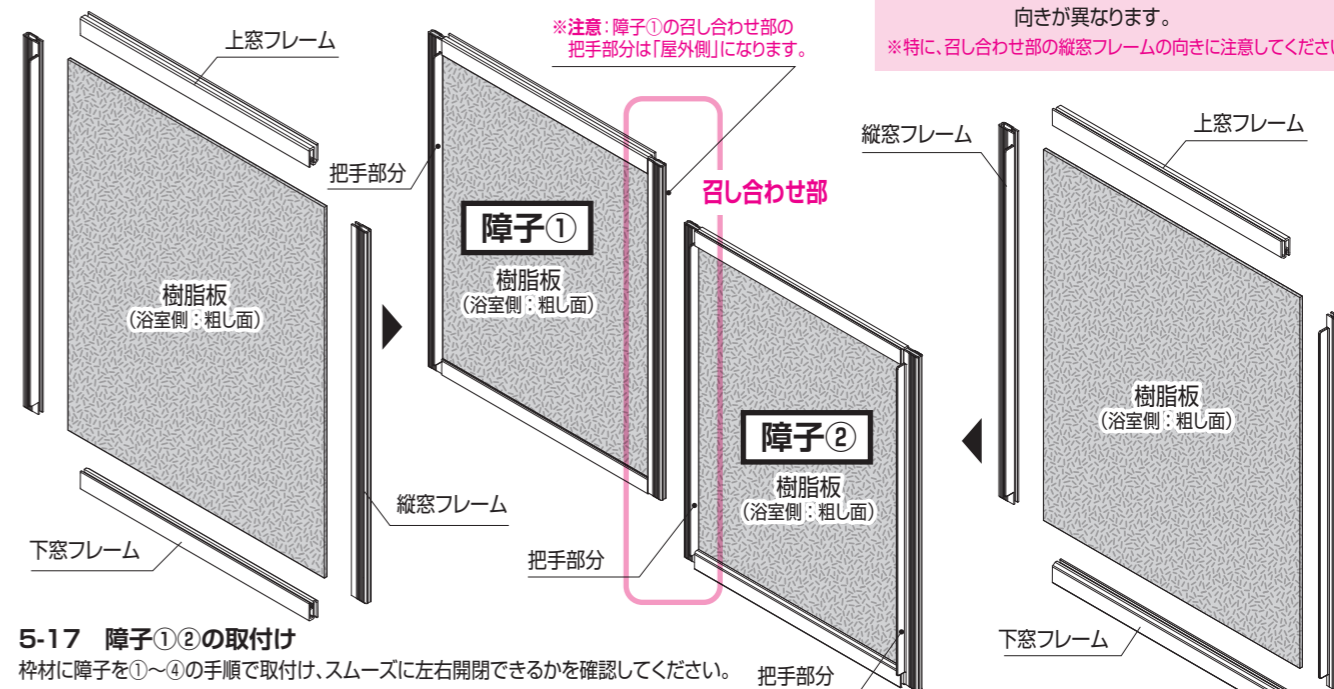
縦窓フレーム・上下窓フレームのカット面にヤスリかけを行い、綺麗に仕上げてください。また、縦窓フレームの把手部分は、安全性を確保するため、右図のように角を丸めてください。



■施工手順

5-16 障子①②の組立て

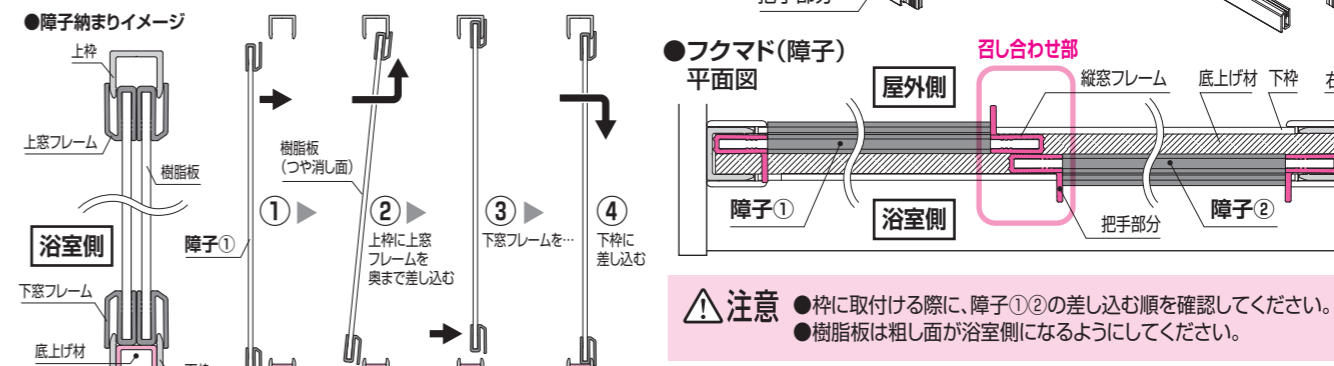
樹脂板の保護フィルムを剥がし、上下窓フレーム・縦窓フレームの向きに注意して組み立ててください。また、樹脂板はキズがつきやすい素材のため、十分に取り扱いに注意してください。



注意 ●各フレームはギザギザ部分を樹脂板へはさみ込むようにしてください。
●障子①、障子②で各フレームを取付ける向きが異なります。
※特に、召し合わせ部の縦窓フレームの向きに注意してください。

5-17 障子①②の取付け

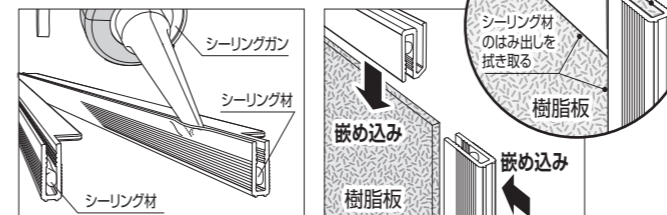
枠材に障子を①~④の手順で取付け、スムーズに左右開閉できるかを確認してください。



6 仕上げ

6-1 シーリング材を充填(任意)

5-17で取付けた障子をいったん取り外し、上下窓フレーム・縦窓フレームの内部に別売部材のシーリング材を充填してください。充填後、再び樹脂板に上下窓フレーム・縦窓フレームを嵌め込んで固定し、枠材に障子を取付けてください。
※シーリング材充填により、部材が取れにくくなります。

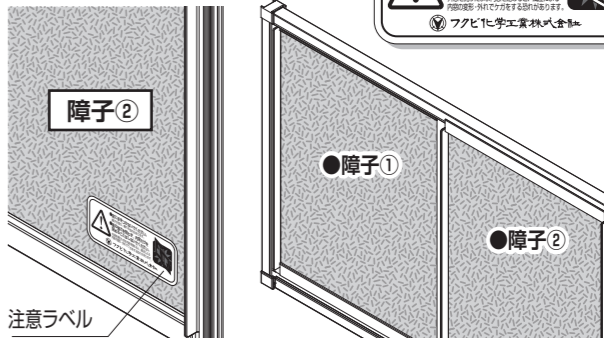


注意 ●はみ出たシーリング材は必ず拭き取るようにしてください。
●上下窓フレーム・縦窓フレームともに取付け向きが間違っていないか再度十分に注意し、取付け作業を行ってください。
※向きを間違とうまく取付けられない場合があります。

7 施工完了

7-1 注意ラベルの取付け

樹脂板の右下に付属の注意ラベルを貼り付けてください。



7-2 汚れの拭き取り

汚れを拭き取り、施工完了します。